

# 一般質問



## 財政健全化と新市建設計画の同時進行は可能か

### 仙北市の道路行政について

田口勝次

#### 財政健全化と新市建設計画の同時進行は可能か

**質問** 総務省は自治体の財政指標を新たに示し、厳しい姿勢で臨んでいる。

危機的状況にある仙北市の財政だが、合併当初の計画通り、事業を進めることが可能かどうか。

**市長** 情勢は変化しており、それに即していかなければならない。財政立て直しと事業実施は同時進行したい。場合によっては「見直し」、「縮小」あるいは「先送り」の検討も必要と思う。仙北市の財政状況は、財政力においては北秋田市と並んで最も悪い。また経常収支比率は下から三番目。実質公債費比率も最も悪い。いずれも厳しいが心配しているのは実質公債費比率である。借金返済のピークは平成二十二年度だが、平成二十六年度になっても標準値十八パーセントをクリアできない見通しである。

**質問** 総務省から「連結赤字比率」という新しい指標が示された。仙北市としては、病院の経営結果がこの数値を左右すると思うがどうか。

**市長** 田沢湖病院は九月から医師三名体制で改善に努めている。

しかし八千八百万円の赤字状況である。来年度から元利償還金が約一億円近い支払いとなる。医師確保に努め経営改善にあたる。

**質問** 来年度の予算編成に当たり心していることは何か。

**市長** 基本としては「市民との協働によるまちづくり」の理解を求めたい。財源確保のため「収納率の向上」に努める。

事業については「ゼロ予算事業」を取り入れる。新規事業についてはスクラップアンドビルドを基本とする。補助金の整理統合を更に進め、新規は認めない方針である。

#### 仙北市の基幹産業「農業」の実態と今後の展望

**質問** 米作り農家にとって米価低落は大きなダメージである。このままでは生産意欲はわかない。

「間に合わない米を作る農家に責任はない」。今日の農業状況は国の政策にある。追随した県や仙北市にも責任の一端はある。農業の衰退は仙北市の崩壊に繋がり、市としては危機的な状況といえる。有効な施策を考えるべきだ。

**市長** 現状を打開するには米に依存した農業から脱却しなければならぬ。又売れる作物を作ることが必要だ。作物を増やして強い農業を目指さなければならぬ。

そのために現在進めている集落営農や認定農家を増やしていかねばならない。施策については、国、県に準じた施策をもって臨みたい。

#### 仙北市の道路行政について

**質問** 菅沢踏切について、国交省は法律に基づいて改良すべき踏切に指定した。「鉄道業者及び道路管理者が協議して改良を実施する」とある。道路管理者である秋田県は立体交差化から構造改良に変えた。この件について仙北市はどのような取組みをしてきたのか。進まない理由は道路管理者の県にあるのか。

**市長** 菅沢踏切は一〇五号線



改良が待たれる神代第一幹線

の交差点の改良と一体的に考えており、地域振興局を通じて早期改善方をお願いはしている。今年も地域振興局との懇談でお願いした。

**質問** 神代第一幹線の危険な道路形態について、経過説明と見直しについて伺いたい。

**市長** これまで四回ほど協議したが、ご不幸があり、話し合いは現在中断している。解決の見通しはある。